令和２年９月２８日

星城大学

学長　赤岡　功

星城大学　後期の講義対応について

後期の講義開始にあたり、本学の対応について説明いたします。

今年度は新年度早々から新型コロナウィルスの影響を受け、講義開始の４月から、約１ヶ月間、その収束を待ちましたが、残念ながらその猛威は収まらず、本学としては、在学生の健康維持、感染拡大防止の観点から前期講義の開始を、5月からとし、全ての講義をオンラインに切り替えて参りました。幸い、本学はe-Universityとして学内整備がされており、その施設の増強を図り、あわせて在学生、一人一人にお持ち頂いているＰＣを利用することで他大学に先んじて、円滑かつスピーディにオンライン講義に移行することができました。在学生の方にとっては初めての挑戦となる方も多く、苦労した方も見えると思いますが、きっと、将来にわたって、大きな財産となることと思います。

さて、後期の講義が始まります。残念ながら感染拡大のリスクは軽くなる事はなく、本学として感染リスクと教育の質をどう担保し、両立を図っていくかを慎重に検討した結果、経営学部では、仲間づくりの機会が少なかった１年生と、卒業が間近に迫り、４年間の集大成となる卒業論文指導やキャリア指導などがある４年生のゼミ、そして対面講義が教育の質と直結する科目である教職課程の実習や体育系の実技など、また、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部では、全学年で必要不可欠な実習、実技科目を対面で行うことと致しました。

対面講義の開始にあたっては、各教室等の除菌消毒などの衛生面、検温モニターの設置、フェイスシールドの配布などの対応で万全を期しています。本学へ来校の節は、ご不便をおかけすることがあるかと思いますが、ご容赦ください。

急速に始まったWithコロナの時代、本学はこの変化の時代に対応する為、今後もデジタル化の推進を含め、教育の質を担保しながら、健康維持、感染拡大防止に全力を尽くしていきます。後期の講義開始にあたり、新しい生活様式を受け入れ、新しい時代に、新しい形で学ぶ、新しい大学の形に、大学としても、全教職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも、ご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。

以上